

# こじょうライブラリー

第 72 号  
13 .7 .22  
名古屋市高年大学  
鯉城学園図書室報

## 「本と私」

読書、それは私を自分だけの夢の世界へ誘ってくれる素晴らしい時間です。午後8時過ぎ、私の読書タイムです。しばしば、時間を忘れて読み耽ってしまう。良い本に出会う度に励まされ、とても幸せです。東野圭吾、五木寛之、浅田次郎、曾野綾子、向田邦子、伊集院静・・・私が愛読する作家の文章に引き込まれ、ハラハラドキドキ。毎日楽しく読書をしています。

先日読んだ、本屋大賞第一位の三浦しおん著「舟を編む」は、辞書(舟)と編集する(編む)人たちが織りなす感動の一冊です。15年の月日を費やし、辞書(大渡海)を制作する話です。出版社に勤める青年馬締光也が、大渡海の編集に明け暮れる毎日を軽妙に描いています。本が映画化されたと聞き、早速観てきました。素晴らしいキャストと最高の仕上がりに、感動の連続でした。笑ったり時には涙したり、切なく、面白く、それでいて楽しい、愛と感動を届けてくれた秀作でした。猫のトラちゃん、大活躍でしたね。

最近、すっかり辞書から遠ざかってしまっていた私でしたが、改めて、辞書は多くの人達の知恵を結集した、汗と涙の結晶だと思いました。私は、今でも周りの沢山の大好きな仲間から元気をもらっており、これからも生きる力を与えてくれる本を、読み続けたいと思っています。整理整頓された鯉城学園の図書室が、いつも楽しい雰囲気です。満たされているのは、利用していただいている皆さんが、本を大切にしてくださっているからです。そんな皆さんに感謝しつつ、今日は、どんな新刊図書が入っているのだろうか、ワクワクしながら入館する私です。

(27期文化学科 加藤 志保子)

※ 投稿をお待ちしております。700字程度まで。事務室の図書係までご連絡ください。

※ 4月～6月の図書室利用状況

	入室者数	貸出数
1年	474	357
2年	470	440
OB	711	678
合計	1,655	1,475

※ よく読まれている本

- ・海賊とよばれた男〈上・下〉 …百田 尚樹
- ・禁断の魔術 ガリレオ8 …東野 圭吾
- ・ソロモンの偽証〈1・2・3〉 …宮部 みゆき
- ・水のかたち〈上・下〉 …宮本 輝
- ・64(ロクヨン) …横山 秀夫
- ・七つの会議 …池井戸 潤

※ 4月から6月の新刊図書は裏面をご覧ください。

## 新刊図書（4月～6月）

著者	著書名	出版社
平岩 弓枝	蘭陵王の恋 - 新・御宿かわせみ	文藝春秋
阿川佐和子	正義のセ	角川書店
小池真理子	沈黙のひと	文藝春秋
山本むつみ	八重の桜〈2〉	NHK出版
朝日新聞	プロメテウスの罫〈4〉	学研
谷川 彰英	地名に隠された「南海津波」	講談社
姜尚中	心	集英社
百田直樹	夢を売る男	太田出版
伊集院静	旅だから出逢えた言葉	小学館
五木寛之	なるだけ医者に頼らず生きるために私が実践している100の習慣	中経出版
沢木耕太郎	キャパの十字架	文藝春秋
佐々木常夫	これからのリーダーに贈る17の言葉	WAVE版

## 鯨城会図書ボランティアの皆様からの寄贈 新刊図書（4月～6月）

著者	著書名	出版社
中村 仁一 近藤 誠	どうせ死ぬなら「がん」がいい	宝島社
佐藤 達夫	食べモノの道理	じゃこめてい出版
小野 智美	女川一中生の句—あの日から	羽鳥書店
呉 小元	ハダカの北朝鮮	新潮社
藤田紘一郎	脳はバカ、腸はかしこい	三五館
伊坂幸太郎	ガソリン生活	朝日新聞出版
佐藤 愛子	幸福とは何ぞや—佐藤愛子の箴言	海竜社
村上 春樹	パン屋を襲う	新潮社
著者	タイトル	出版社
岸恵子	わりなき恋	講談社文庫
小川洋子	ことり	朝日新聞出版
山下澄人	ギッチョん	文藝春秋
東野圭吾	夢幻花	PHP研究社
村上春樹	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年	文藝春秋
村山由佳	天翔る	講談社